

# 文化通信

## 速報

発行所・(株)文化通信社 / 編集・発行人・渡邊裕二

平成28年8月3日(水) 第16414号

☆きょうのニュース

池袋はアニメが高稼働し興収39%増、渋谷8%増

新宿は2%減、ヒット出るも不調も多くやや苦戦

東京テアトル直営館、上半期1%増の8.6億円

▽1〜6月累計は943億円で、昨年対比6%増

邦画、洋画配給会社12社の累計興収がまとまる

▽40〜50代中心に若い層も、トークショー続々

角川映画祭、新宿で30日から好調なスタート

▽東宝東和『ジェイソン〜』、全世界で大ヒット

▽ツイイン『ロング・トレイル!』ヒットスタートきる

▽パンドラほか『不思議惑星〜』コラボTシャツ発売

▽川喜多映画記念館 特集「〜2人の画家」9〜11日

▽クレストI『めぐりあう日』岩波で好調スタート

▽第38回PFF、OP『夢二』他&CL『淵に立つ』

▽松竹『一週間フレンズ。』公開日と追加役者発表

▽東映『ワンピース』大阪で大ヒット御礼舞台挨拶

▽東映ほか『デジモン〜』新宿でプレミア先行上映

▽ショーイースト16、10月17日からマイアミビーチで

▽SPE配給『バイオハザード』最新作、邦題が変更

▽SPE配給『マイルス・デイヴィス』12月23日公開

▽ギャガ・プラス『ペイ・ザ・ゴースト』10月22日公開

▽コミコンでDCプレゼン、今後の新作映画続々紹介

▽トランスフォーマー『ある戦争』バラカン氏が語る

▽AMGエンタ、『ナルコス』DVDを10月5日発売

▽レディオヘッドのジョニー出演映画、目黒シネマで

▽8月1日・東京都「映画サービスデー」成績



(株)文化通信社 URL:<http://www.bunkatsushin.com/>

■住所: 〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-12-1新有楽町ビル10階 ■電話: 03-3214-6041 ■ファックス: 03-3214-5466

■メール: [info@bunkatsushin.com](mailto:info@bunkatsushin.com) ■ツイッター: <https://twitter.com/bunkatsushin> ■フェイスブック: <http://www.facebook.com/bunkatsushin>

☆きよのニュース

◎池袋はアニメが高稼働し興収39%増、渋谷8%増

新宿は2%減、ヒット出るも不調も多くやや苦戦

東京テアトル直営館、上半期1%増の8・6億円

東京テアトルは、2016年上半期（1～6月）の直営館興行成績をまとめた。9サイト・23スクリーンで動員67万2864人、興収8億6848万5600円を記録。動員、興収ともに前年から1%伸ばした。

都内単館系の劇場別では、テアトル新宿は興収で2%減と、ほぼ前年並みに推移した。『俳優 亀岡拓次』『デイストラックシオン・ベイビーズ』がヒットしたものの、不調な作品も多くやや苦戦した印象。

ヒューマントラストシネマ有楽町も興収で2%減。『サウルの息子』『マジカル・ガール』『アイヒマン・シヨー 歴史を映した男たち』『素敵なサブライズ ブリュッセルの奇妙な代理店』がヒットし、例年どおりの安定した数字を残した。一方で、客層を若干広げようとチャレンジした作品はあまり伸びなかった。

ヒューマントラストシネマ渋谷は、興収比8%増と伸長。『ちはやふる』『ルーム』『ヒメアノール』や毎年恒例の特集「未体験ゾーンの映画たち」がヒットし、4月1日から始めた上映企画「マスターセレクション」作品群（『LOVE 3D』『ルーム』『トリプル9裏切りのコード』等）も好調だった。例年より中高生を意識した編成ラインと40代以上を意識した単館ラインがうまく稼働した。

また、シネ・リーブル池袋はアニメ作品が順調に高稼働するなどし、興収が約4割も伸びた。作品ではアニメの『傷物語 I 鉄血篇』『PERSONA3 THE MOVIE #4 Winter of Rebirth』『同級生』『ずっと前から好きでした。告白実行委員会』や、実写の『僕だけがいない街』がヒットした。

【東京テアトル 2016 年上半期興行成績】

劇場名	スクリーン	座席数	2016 年上半期		対前年	
			動員	興収	動員	興収
ヒューマントラストシネマ有楽町	2	225	79,677	98,830,500	97%	98%
ヒューマントラストシネマ渋谷	3	433	124,600	164,873,500	110%	108%
テアトル新宿	1	218	61,716	86,330,900	99%	98%
シネ・リーブル池袋	2	310	100,813	142,417,200	134%	139%
テアトル梅田	2	156	55,890	69,590,400	112%	112%
シネ・リーブル梅田	4	443	105,093	128,402,400	87%	82%
シネ・リーブル神戸	3	322	76,049	95,391,800	87%	89%
キネカ大森	3	243	29,287	36,215,400	98%	102%
新所沢レッツシネパーク	3	649	39,739	46,433,500	88%	91%
<b>全館計</b>	<b>23</b>	<b>2,999</b>	<b>672,864</b>	<b>868,485,600</b>	<b>101%</b>	<b>101%</b>

邦洋配給会社12社 2016年6月及び16年1～6月累計興収

順位	会社名	16年1～6月	16年6月
1	東宝	366億 9856万 0050円	38億 2909万 8490円
2	ディズニ－	184億 1532万 4100円	18億 3068万 3400円
3	松竹	81億 8262万 6719円	21億 6508万 5953円
4	フォックス	74億 2182万 5750円	18億 8959万 2100円
5	ワーナー	70億 3074万 8300円	11億 4478万 4800円
6	東映	56億 0985万 0800円	3億 9467万 5460円
7	ショウゲート	33億 2239万 0863円	3億 6692万 3070円
8	ギャガ	22億 3680万 1606円	4億 3682万 4056円
9	東宝東和/東和ピクチャーズ	18億 3216万 9020円	5億 6842万 2000円
10	KADOKAWA	14億 4914万 7760円	6億 8139万 3580円
11	ソニー・ピクチャーズ	13億 5815万 8600円	3億 1201万 7700円
12	アスミック・エース	7億 7080万 8700円	5805万 2900円
12社計		943億 2841万 2268円	136億 7755万 3509円

邦画、洋画12社の6月と1～6月の累計興収がまとまった。それによると、12社の6月累計は、136億7755万3509円。1～6月累計は、943億2841万2268円だった。1～6月累計は、昨年の106・4%だった。

累計トップは東宝で、366億9856万0050円。これは、昨年同期の105・0%。松竹は、6月が21億6508万5953円で、全体の2位。1～6月累計では、81億8262万6719円を記録し、これは昨年同期の164・1%と数字を伸ばした。6月全体3位のフォックスは、累計では5位から4位に順位を上げた。

◎ 1～6月累計は943億円で、昨年対比6%増  
邦画、洋画配給会社12社の累計興収がまとまる

文化通信（速報）28年8月3日（16414号）第三種郵便物認可

了

文化通信（速報） 28年8月3日（16414号） 第三種郵便物認可

◎ 40〜50代中心に若い層も、トークショー続々  
角川映画祭、新宿で30日から好調なスタート

角川映画40年を記念して企画された「角川映画祭」（配給KADOKAWA）が、7月30日より角川シネマ新宿で好調なスタートを切った。1日4回上映で、30日は動員479人、興収54万7500円、31日は動員591人、興収71万5900円、土日2日間で動員1070人、興収126万3400円を記録した。31日『Wの悲劇』上映後には澤井信一郎監督、三田佳子をゲストにトークショーを行い、満席となった。

昭和時代の角川映画、つまり1976年『犬神家の一族』から88年『ぼくらの七日間戦争』まで厳選した48本を上映する、角川映画初の大規模な映画祭。9月2日まで5週間行う。客層の中心は40〜50代、当時の角川映画を知る世代。男女比は7…3。映画祭の宣伝にあたり、オープニング作品『犬神家の一族』の登場人物「犬神佐清」を「スケキヨ」としてビジュアル面で積極的に打ち出し、20〜30代の若い層も多く取り込んだ。

角川シネマ新宿にスケキヨ像を設置し、記念撮影した写真がSNSに多数アップされ話題を呼んでいる。また館内に当時のポスターやプレス資料なども展示し、映画鑑賞だけではない楽しさを提供している。

今週末以降、計5回のトークショーが決定。6日『汚れた英雄』で仙元誠三（映画キャメラマン）、7日『人間の証明』で中川右介（作家、編集者）、10日『Wの悲劇』でブルボンヌ（女装パフォーマー、ライター）、よしひろまさみち（映画ライター、編集者）、13日『時をかける少女』で大林宣彦（映画作家）、21日『Wの悲劇』で遠藤茂行（現東映顧問、元宣伝担当）の各氏が登壇する。今後の上映館は13日からシネマート心斎橋、27日から中洲大洋劇場、秋以降でミッドランドスクエアシネマ、イオンシネマユウカリが丘、イオンシネマ今治新都市が決まっている。

◎ 東宝東和『ジェイソン』、全世界で大ヒット

東宝東和配給『ジェイソン・ボーン』は7月29日に北米4026館で公開され、週末3日間で興収5922万ドルを記録し、初登場1位を飾った。昨年同時期公開『ミッション・インポッシブル/ローグ・ネイション』のオープニング興収5520万ドル（最終1億9500万ドル）を上回った。また、世界各地でも大ヒット。27カ国・地域で首位スタートを切り、インターナショナルの先週末興収で1位を獲得。ボーンシリーズ最高のインターナショナルオープニング興収を記録した。その結果、全世界興収（北米含む47カ国・地域）も1位で、1億0900万ドルをあげた。

北米の一般観客の評価はシネマスコアでAマイナすと、満足度も高い。日本では10月7日（金）よりT.O.H.Oシネマズスカラ座ほか全国公開。

了

◎ツイン『ロング・トレイル！』ヒットスタートきる

ツイン配給のアメリカ映画『ロング・トレイル！』が7月30日（土）に全国8館で公開され、ヒットスタートをきった。

同作は北米有数の自然歩道「アパラチアン・トレイル」を歩く2人の物語。特に、メイン館のヒューマントラストシネマ渋谷、千葉劇場、伏見ミリオン座、八丁座の4館が賑わった。

渋谷では、土日2日間で動員705人、興収90万7900円を計上し、土日とも満席回が出るなどの高稼働であった。客層は40〜60代が中心で男女比は6対4とシニア層の男女を多く集客しているため、平日の動員も期待されている。また男性のペアや夫婦、カップルでの鑑賞が非常に目立った。渋谷の土日2日間の内訳は、7月30日は動員356人、興収46万4500円、31日は動員349人、興収44万3400円。さらに、配給元からは、「8月1日のファーストデーも数字が落ちなかった」と追加情報が得られた。

今後は、8月11日の祝日「山の日」に向けた追いパブも決定しており、さらなる盛り上がりが見込まれている。上映劇場は8月6日〜長崎セントラル劇場、13日〜シネ・リーブル梅田、シネマ5、20日〜半田コロナシネマワールド、春日井コロナシネマワールド、27日〜宮崎キネマ館、桜坂劇場、9月3日〜フォーラム仙台、新所沢レッツシネパーク、中川コロナシネマワールド、シネ・リーブル神戸、その他へと拡大していく。

◎パンドラほか『不思議惑星』コラボTシャツ発売

パンドラ+キングレコード配給『不思議惑星』の「ザ・ザ」デジタルリマスター版のコラボTシャツが、上映劇場の新宿シネマカリテで8月13日より発売開始される。同作は86年公開のカルト的人気を誇るソ連生まれの超脱力系SF映画。今回、01年の日本公開当時からデザインを手掛けたフアッションブランドGDCと再コラボを行った。黒地に「KIN・DZA・DZA」の白ロゴ、白地に黒ロゴの2種が税込5400円で発売される。20日より同館で公開される。

◎川喜多映画記念館、特集「2人の画家」9〜11日

鎌倉市川喜多映画記念館では、「激動の時代を生きた2人の画家」と題した特集で、藤田嗣治を描いた『FOUR TITAN』、『イ・ジュンソプの』、『ふたつの祖国、ひとつの愛』、『イ・ジュンソプの妻』の2本を取り上げる。関連イベントとして、11日の『ふたつの祖国』上映後に、李美那氏（神奈川県立近代美術館 主任学芸員）によるトークイベントを行う。会期は9〜11日。料金は一般1000円、小・中学生500円。

了

文化通信（速報） 28年8月3日（16414号） 第三種郵便物認可

◎クレストI『めぐりあう日』岩波で好調スタート

クレストインターナショナル配給『めぐりあう日』が岩波ホールで7月30日より公開され、好調なスタートをきった。土日2日間で動員656人、興収100万2800円を記録。7月30日は動員350人、興収53万4100円、31日は動員306人、興収46万8700円を計上している。

6年前に『冬の小鳥』が大ヒットを記録したウニー・ルコント監督の最新作。ルコント監督は、韓国からフランスへ養子として渡った自身の人生を重ねた映画作りを続けている。今作は、実母に手放されてから30年後、自らも母となった女性と生みの親との巡り合せを描いた感動作。

岩波ホールでは、朝早くから当日券を求める婦人層が長蛇の列を作り、50〜70代の女性グループや夫婦が1〜2回目の上映に集中した。平日の月曜日も土日と変わらない動員数で好調に推移した。

配給元はヒットスタートの要因を、「ルコント監督自身のルーツを探求し続けるインタビュ記事が数々紹介され、その真摯な姿勢がシニア女性客の心を掴んだようだ」と分析している。さらに、前週の読売新聞に始まり、朝日、日本経済などで大枠、そのほか全紙に映画評が掲載され、作品の品質保証に繋がった。劇場への問い合わせの電話も途切れることなく続き、更なる伸びが期待されている。

今後、8月20日〜シネ・リーブル梅田、シアターキノ、27日〜名演小劇場、シネ・リーブル神戸、9月〜KBCシネマ、フォーラム仙台ほか、全国各地で上映される。

◎第38回PFF、OP『夢二』他&CL『淵に立つ』

東京国立近代美術館フィルムセンターにおいて9月10〜23日開催の第38回PFFでは、オープニング作品とクロージング作品を決定した。

OPは、大ホール、小ホールで上映する2本。大ホールでは、PFF講座シリーズ「映画のコツ〜こうすればもつと映画が輝く〜」と銘打って、鈴木清順監督が91年に発表した『夢二』を上映する。9月3日公開『エミアビのはじまりとはじまり』の渡辺謙作監督、出演の前野朋哉、森岡龍の企画で、当日は3氏が登壇する。小ホールでは04年『おそいひと』などで知られる柴田剛監督の最新作『ギ・あいうえお』他山の石を以って己の玉を磨くべし』をプレミア上映する。

CLは、カンヌ国際映画祭ある視点部門審査員賞受賞作『淵に立つ』（10月8日公開）を22日に先行プレミア上映。深田晃司監督らによる舞台挨拶も実施する。チケットは13日よりチケットぴあで発売開始。

了

文化通信（速報） 28年8月3日（16414号） 第三種郵便物認可

◎松竹『一週間フレンズ。』、公開日と追加役者発表

松竹配給『一週間フレンズ。』（監督村上正典）は、このほど主演の川口春奈、山崎賢人、松尾太陽（超特急）、上杉柊平、高橋春織、古畑星夏、戸次重幸、国生さゆり、甲本雅裕に続き、若手女優の伊藤沙莉、岡田圭右（ますだおかだ）、岩瀬亮の出演も発表した。

また、公開日が2017年2月18日（土）に決定。8月6日（土）より全国の上映劇場でチラシ・ポスター設置、スクリーンにおいて特報が上映される予定。

◎東映『ワンピース』大阪で大ヒット御礼舞台挨拶

7月23日（土）より公開された東映配給『ONE PIECE FILM GOLD』の大ヒット御礼舞台挨拶が、8月8日（月）に大阪2劇場で行われる。当日は、モンキー・D・ルフィ役の田中真弓とウソップ役の山口勝平が登壇する。

▽梅田ブルク7 午前9時50分の回上映終了後

▽大阪ステーションシネマ 午後12時45分の回上映開始前

◎東映ほか『デジモン』新宿でプレミア先行上映

東映 東映アニメーション配給『デジモンアドベンチャー tri. 第3章「告白」』（9月24日公開）は、新宿バルト9で8月19日（金）にプレミア先行として2回上映される。当日は舞台挨拶が行われ、田村睦心（泉光子郎役）、榎木淳弥（高石タケル役）がそれぞれ登壇する。

▽1回目 18時の回上映終了後

▽2回目 20時50分の回上映開始前

◎シヨースト16、10月17日からマイアミビーチで

「第30回SHOW EAST 2016」が、10月17日から20日まで米国マイアミビーチで開催される。

【お知らせ】当社夏季休暇のため、8月6日（土）付、13日（土）付、16日（火）付、20日（土）付、27日（土）付は休刊します。

了

文化通信（速報） 28年8月3日（16414号）第三種郵便物認可

◎S P E 配給『バイオハザード』最新作、邦題が変更

S P E 配給『バイオハザードVI・ザ・ファイナル』は、邦題が『バイオハザード・ザ・ファイナル』に変更された。12月23日（金・祝）に日本で世界最速公開される。

大ヒットアクション映画『バイオハザード』シリーズ第6弾にして最終作。監督はポール・W・S・アンダーソン、主演はミラ・ジョヴォヴィッチ。ローラが同作でハリウッドデビューを果たしている。

◎S P E 配給『マイルス・デイヴィス』 12月23日公開

S P E 配給『Miles ahead（原題）』は、邦題が『MILES AHEAD／マイルス・デイヴィス 空白の5年間』に決定。12月23日（金・祝）よりT O H O シネマズシヤンテほか全国公開と決定した。

ジャズ界に留まらず、すべてのミュージシャンのカルスマとして、今でも語り継がれるマイルス・デイヴィスを描いた初の映画。俳優のドン・チドルが初監督し、自ら主演を務めた。

◎ギャガ・プラス『ペイ・ザ・ゴースト』 10月22日公開

ギャガ・プラス配給『PAY THE GHOST（原題）』は、邦題が『ペイ・ザ・ゴースト ハロウインの生贄』に決定。10月22日（土）より渋谷シネパレスほか全国順次ロードショーと決定した。

ニコラス・ケイジ主演最新作。ハロウインのお祭り騒ぎの裏に秘められたダークな物語を描く絶叫エンタテインメント。監督はウーリー・エデル。

◎コミコンでD C プレゼン、今後の新作映画続々紹介

米サンディエゴで24日まで開催されていた「コミコン」で開催されたD C のパネルディスカッションについて、アメコミライターの杉山すび豊氏のレポートが届いた。

6500人を収容できる大会場を使い、『スーサイド・スクワッド』のデヴィッド・エアー、『ワンダーウーマン（原題）』のパティ・ジェンキンス、『ジャスティス・リーグ（原題）』のザック・スナイダー、『フラッシュ（原題）』のリック・ファムイーワ、『アクアマン（原題）』のジェームズ・ワンら各作品の監督が登場。最後に、バットマンのソロ映画の監督としてベン・アフレックが登場したほか、『ジャスティス』のヘンリー・カヴィルら、『スーサイド』のウィル・スミスらキャストが代わる代わるで登場し、場内は大興奮に包まれた。

杉山氏はこのパネルに参加するために14時間並んだが、「それでも真ん中ぐらい。すごい人は24時間以上並んでいたのでは」とした。

了

文化通信（速報） 28年8月3日（16414号） 第三種郵便物認可

◎トランスフォーマー『ある戦争』、バラカン氏が語る

トランスフォーマー配給『ある戦争』が7月30日、シネマカリテで開催中の映画祭「カリコレ」でプレミア上映され、ブロードキャスターのピーター・バラカン氏によるトークイベントが行われた。

極限状態で問われる「正義」や「家族愛」を、戦地と法廷、2つの場所を舞台に問いかけるヒューマンドラマ。バラカン氏は「アフガニスタンはじめ、こうした戦争はずっと続いていて一向に終わる気配がない。それなのに、よっぽど大きな事件がない限り、アフガンでの戦争は日本のニュースで紹介されることはない。だからこそ、こうして真つ向から取り上げるのはすごく必要なこと」と作品の持つ意義を語り、仲間のためにくだした「ある決断」によつて民間人の命を奪ってしまった一人のデンマーク兵が直面する過酷な現実を描く同作について「正義とは何か、ということを結論づけていない。そこがいいところ。映画を観る一人一人に解釈を委ねる」と特長を語った。10月8日（土）よりシネマカリテほか全国順次公開。

◎AMGエンタ、「ナルコス」DVDを10月5日発売

AMGエンタテインメントは、ネットフリックスで独占配信されているドラマ「NARCOS 狂気の麻薬王エスコバル」を、10月5日（水）にDVDリリースする。

麻薬王エスコバル対コロンビア+米政府の実際に起きた壮絶な戦争ドラマ。出演はワグネル・モウラ。製作総指揮は『ロボコップ』のジョゼ・パジーリヤなど。発売元・レンタル販売元はAMGエンタ、セル販売元はビクターエンタテインメント。

◎レディオヘッドのジョニー出演映画、目黒シネマで

「レディオヘッド」のメンバー、ジョニー・グリーンウッドが出演し、『ゼア・ウィル・ビー・ブラッド』『インヒアレント・ヴァイス』のポール・トーマス・アンダーソンが監督した音楽ドキュメンタリー映画『JUNUN（ジュヌン）』が、6日から12日まで、目黒シネマで公開されることが決まった。昨年、ニューヨーク国際映画祭でプレミア上映され、あわせて海外のVOD配信サイト「MUBI」で期間限定公開された作品。

インド北西部の町で、様々な個性を持ち合わせたミュージシャン達がスタジオで音をぶつけ、調和させ、曲を作っていく様子が収められた作品。ジョニーがここに参加し、監督が同行して撮影した。日本公開の発起人はマッドネス・オブ・ラブ・プロジェクト。なお、レディオヘッドのミュージックビデオ「Daydreaming」も同時上映される。

了

2016年8月1日(月)・東京都「映画サービスデー」主要館興行成績対比

	会社名	館数	2015年8月1日(土) (前年対比)		2016年7月31日(日) (前日対比)		主な上映作品 *下段( )は昨年作品
			動員比	興収比	動員比	興収比	
邦画系	東宝系	4	55.3%	53.8%	50.3%	43.0%	ポケモン・ザ・ムービーXY&Z 「ボルケニオンと機巧のマギアナ」 (ポケモン・ザ・ムービーXY「光輪の超魔神 フーパ」)
	東映系	4	612.8%	578.5%	62.0%	43.9%	ONE PIECE FILM GOLD (アリのままでいたい)
	平均	8	199.6%	196.2%	59.2%	43.7%	
洋画系	松竹・東急系	23	62.3%	61.2%	81.6%	61.5%	ターザン：REBORN、HIGH&LOW THE MOVIE、アクセル・ワールド、ロスト・バケーション、疑惑のチャンピオン (マッドマックス 怒りのデス・ロード、ラブライブ！ The School Idol Movie、映画ひつじのショーン、リアル鬼ごっこ、愛を積むひと)
	東宝系	27	44.7%	44.0%	85.8%	61.3%	アリス・イン・ワンダーランド/時間の旅、インデペンデンス・デイ:リサージェンシス、ファインディング・ドリー、シン・ゴジラ、ヤング・アダルト・ニューヨーク (ターミネーター：新起動、ポケモノの子、アベンジャーズ/エイジ・オブ・ウルトロン、ミニオンズ、進撃の巨人、HERO、インサイド・ヘッド)
	単館系	11	94.4%	92.7%	108.1%	78.7%	シング・ストリート 未来へのうた、ロング・トレイル!、DOPE/ドープ!!、アンフレンデッド、ミモザの島に消えた母、AMY エイミー (ラブ&マーシー 終わらないメロディー、劇場版 明治東京恋伽、奇跡の2000マイル、アロハ・デス、宇田川町で待っててよ。、バトルヒート、奪還者)
	平均	61	50.5%	49.8%	86.6%	62.7%	
全	平均	69	55.5%	54.7%	82.0%	59.6%	

都興組による2016年8月1日(月)・東京都「映画サービスデー」成績  
 「前年対比/前日対比」がまとまった。

◎8月1日・東京都「映画サービスデー」成績

文化通信(速報) 28年8月3日(16414号) 第三種郵便物認可

了

# 「日刊文化通信速報」 1週間無料試し読みのご案内

この度は「日刊文化通信速報」の見本（PDF）をご利用頂き、誠にありがとうございます。見本（PDF）をご覧になって、

- ・他にもどんな記事が掲載されているのか見てみたい
- ・もう少し継続して読んでみたい
- ・PDFではなく実際に紙で読んでみたい

とって頂いた方に、1週間無料で実物（紙）をお届けする試し読みサービスをご用意しています。

1週間のお試し期間終了後に、自動で本契約扱いになることはございません。購読の検討材料として、是非お気軽にお試しください。

[申込ページへ移動する](#)